



春日幼稚園

建物の老朽化に伴う幼稚園舎の建て替え事業である。当地に鎮座する春日神社の起源は遠く天智天皇に由来する。氏子らによって受け継がれてきた地域社会の結束は、400年以上の歴史を誇る地域の祭りの賑わいにも表われている。当園は70年ほど前に春日区立として神社横に開園したもので、その後、地元の幼児教育に対する熱意と福岡市のベッドタウンという都市環境から現在地に発展的に移転新築され、いまや園児数400名へと拡大している。

敷地は幼稚園から大学までの文教地区にあり、緑の景観と相まって「地域の顔」ともいえる特徴的な景観エリアを生み出している。この中で最も古い歴史を持つ当園のリニューアルには、地域の伝統と未来を見つめる視点が求められた。隣接する住宅地へ配慮して建物の圧迫感を抑えながら、木質感覚の内外装を求め、「鳥の巣」のような角材スクリーンと日常的に木に触れる生活環境、響き過ぎない内部の音環境が生まれた。

建設資材高騰の波を受け、S造→RC造→CLT木造→S造と構造形式も変化した。しっかりと時間をかけ、ワークショップを重ねながら計画を進めた。木質感覚の内外装に糸島漆喰の壁、輻射暖房、園歌に謳う六角形のキューポラなどが特徴。

- 1 南側全景
- 2 角材スクリーン
- 3 なかよし広場
- 4 昇降ホール
- 5 廊下・階段・すべり台
- 6 にこにこぼーる
- 7 昇降ホールとレリーフ

